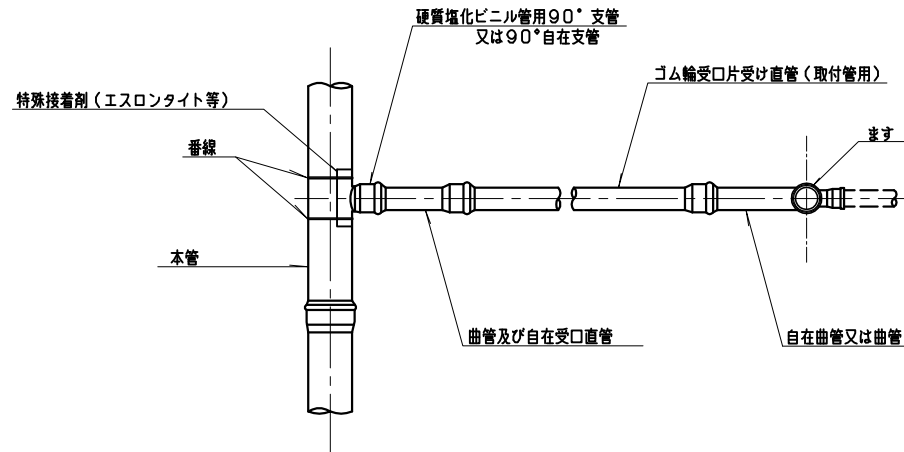


取付管工及びびます設置工

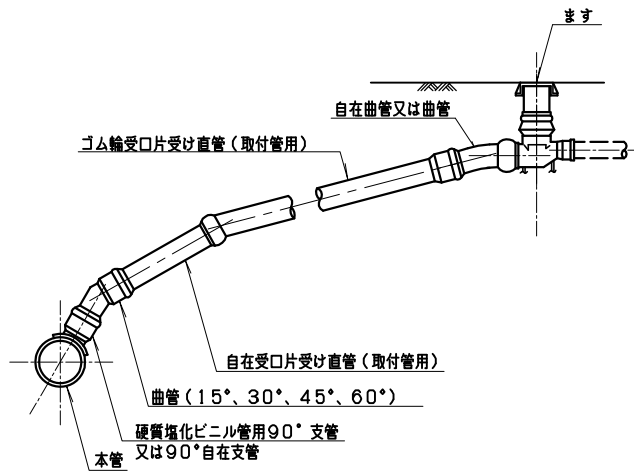
汚水取付管工及び汚水ます設置工（その1）

本管が丸管の場合

平面図



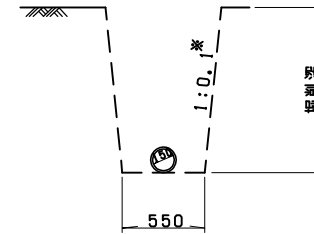
断面図



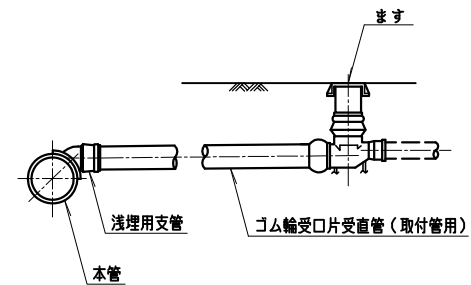
本管 (K₁, K₅) の場合

- ※1 取付管の掘削のり勾配は、1:0.1を標準とする。
- ※2 取付管を布設する場合は、本管と支管との接合部分は、管頂120°の間に取付ける事。
- ※3 60°支管は原則として使用しない。

掘削断面図



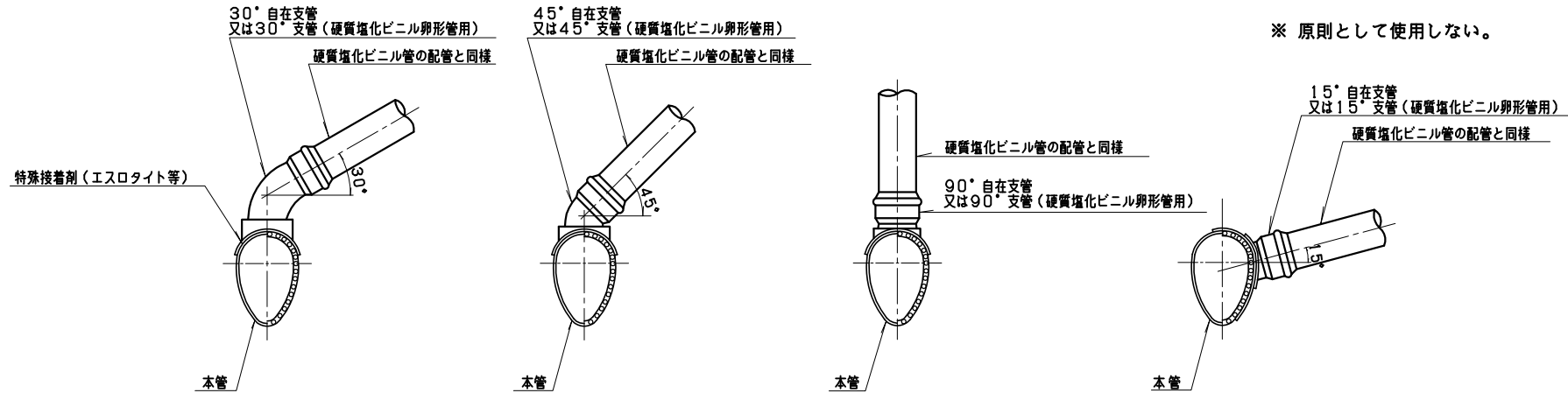
浅埋用支管を使用する場合



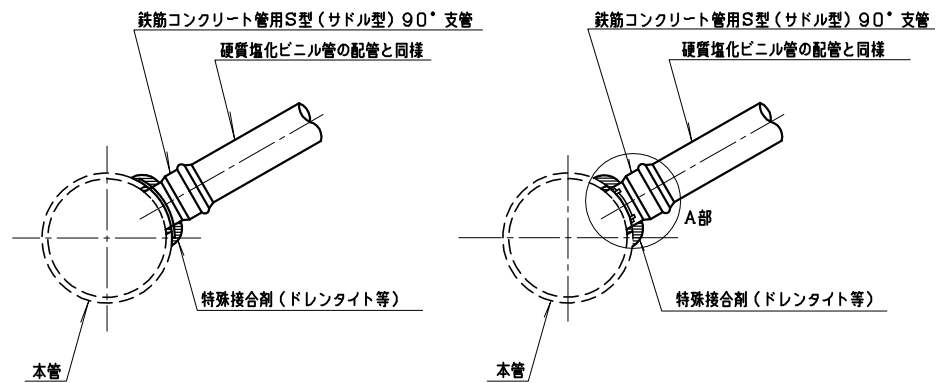
汚水取付管工及び汚水ます設置工（その2）

本管（K₃・A₁）の場合

本管が卵形管の場合 ※ 原則として上部から取付けるものとする。

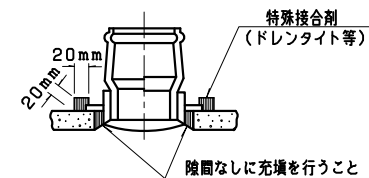


本管が鉄筋コンクリート管の場合



注1) 鉄筋コンクリート管に接続する場合は、S型（サドル型）を標準とする。

A部詳細図



汚水ます設置工

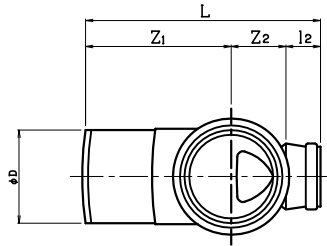
図面記号



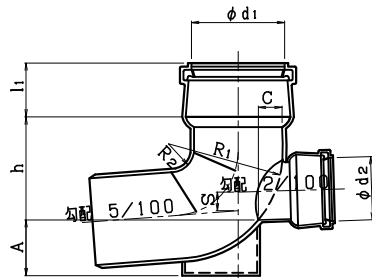
神戸市型塩ビ製小型汚水ます(単位mm)

小型汚水ます詳細図

平面図

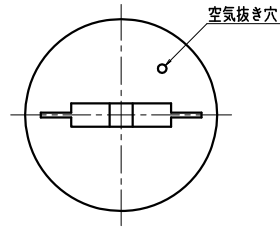


断面図

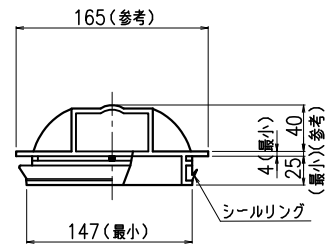


内ふた詳細図

平面図



断面図



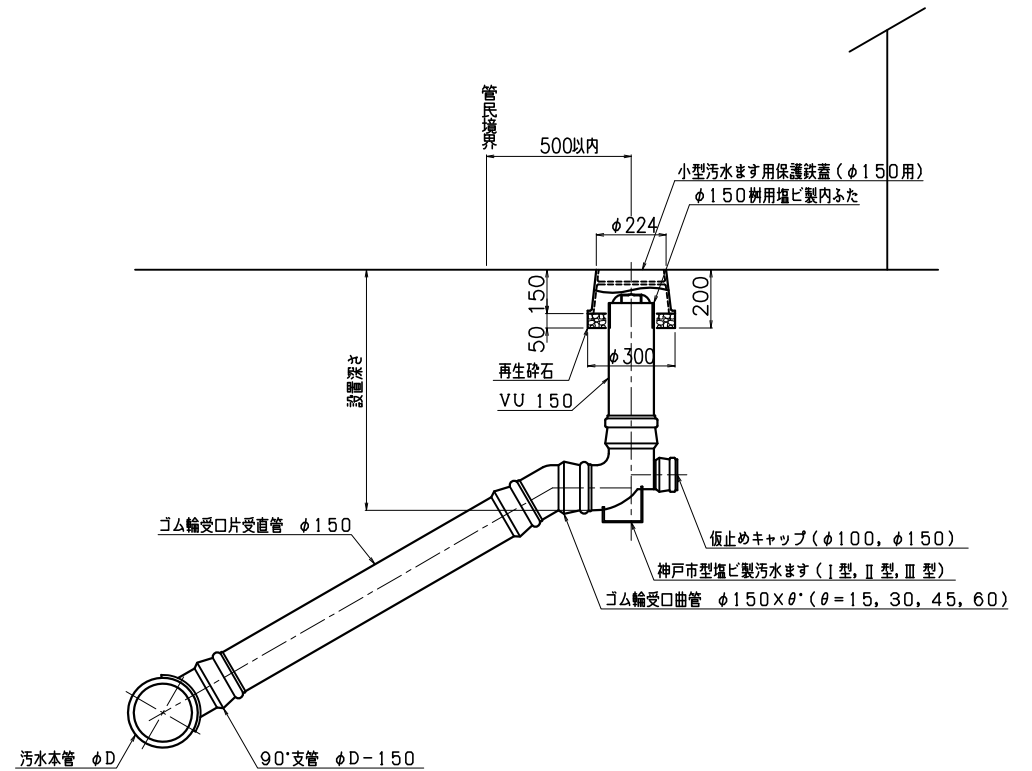
(単位: mm)

呼び	Z ₁	Z ₂	l ₁ (最大)	l ₂ (最大)	L	d ₁ (最小)	d ₂ (最小)	D
I 型	210±20	105±20	108	90	410±20	166.0	115.0	114±0.4
II 型	245±20			90	430±20		115.0	165±0.5
III 型	245±20			108	450±20		166.0	165±0.5

R ₁	R ₂	h	A	S	C (最小)
150以上	50以上	155±20	50±5	27	42
		175±20	85±5	27	34
		185±20	85(参考)	50	34

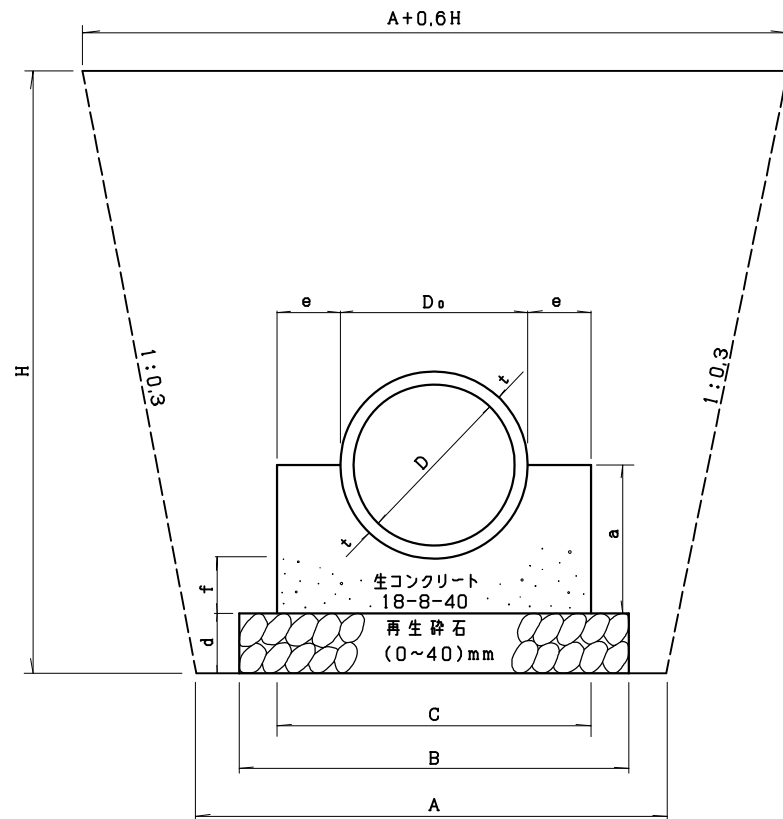
小型汚水ます設置標準図

宅地ます

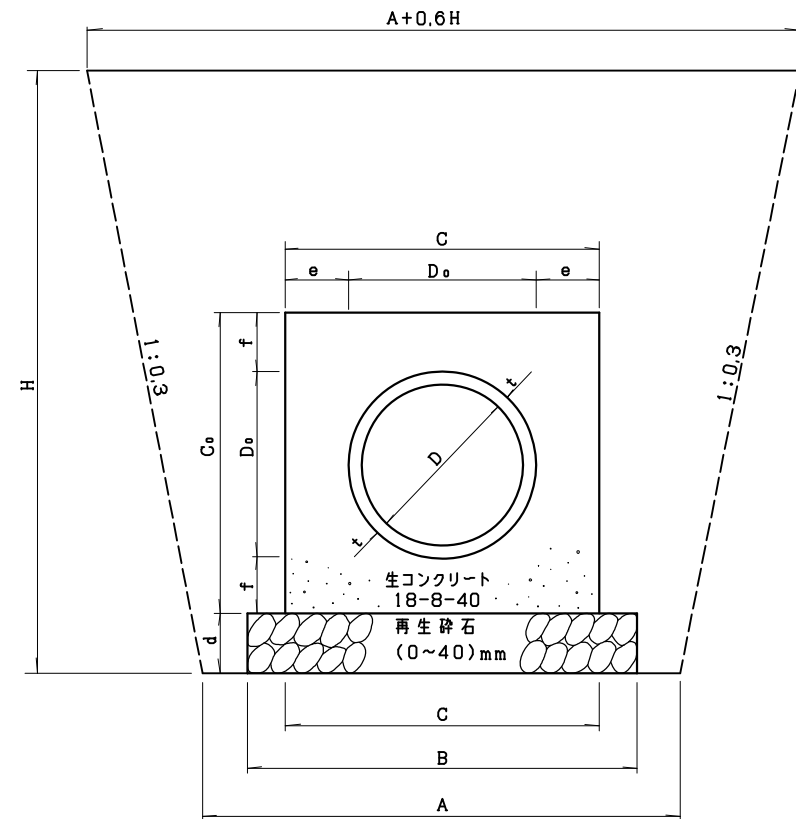


※ 塩ビ製内ふたには空気抜き穴を設けるものとする。

雨水取付管工標準断面図
180°, 360° コンクリート基礎 素掘



180° コンクリート基礎

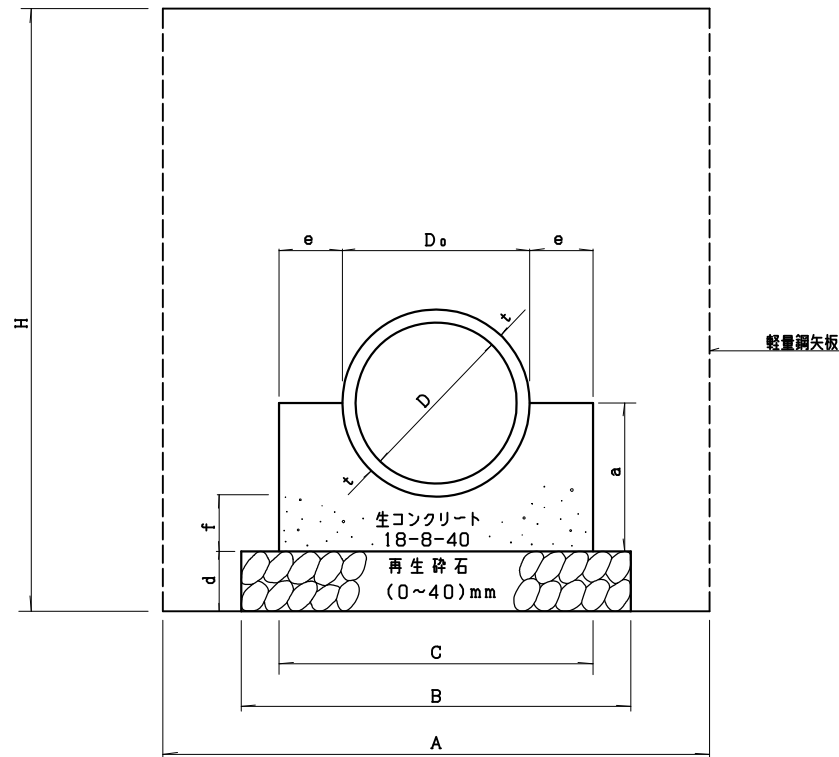


360° コンクリート基礎

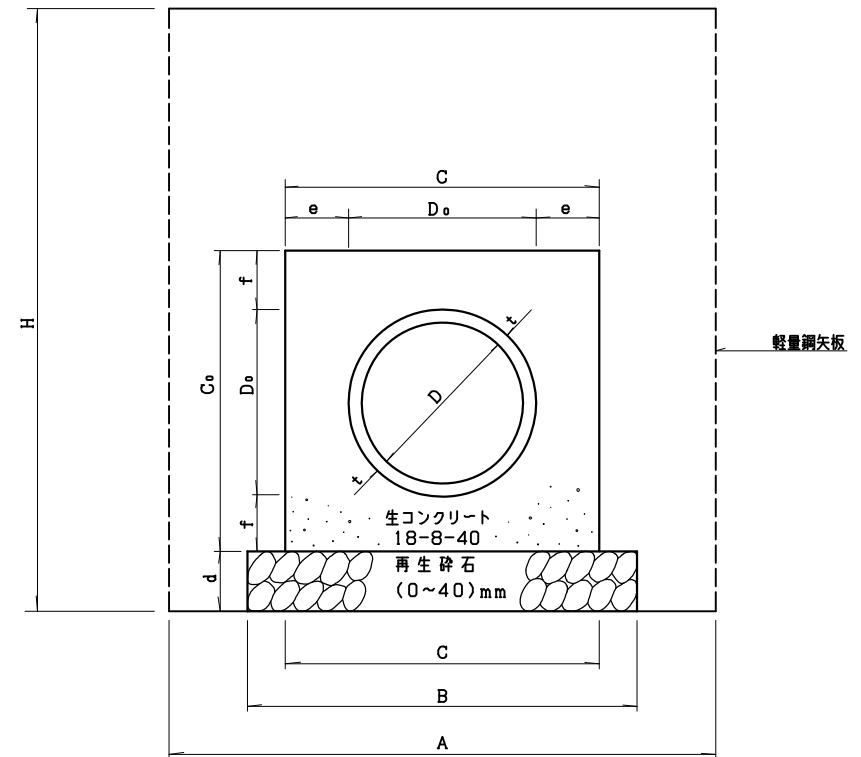
寸法表

外圧管B形	単位	A	A+0.6H	B	C	C ₀	d	e	f	a	t	D ₀
	D mm	m	m	mm	mm	mm	mm	mm	mm	mm	mm	mm
	300	1.200	1.200+0.6H	700	600	560	150	120	100	280	30	360
	400	1.300	1.300+0.6H	800	700	770	150	115	150	390	35	470
	500	1.400	1.400+0.6H	900	800	884	150	108	150	450	42	584
	600	1.500	1.500+0.6H	1000	900	1000	200	100	150	500	50	700

雨水取付管工標準断面図
180°, 360° コンクリート基礎 軽量鋼矢板



180° コンクリート基礎

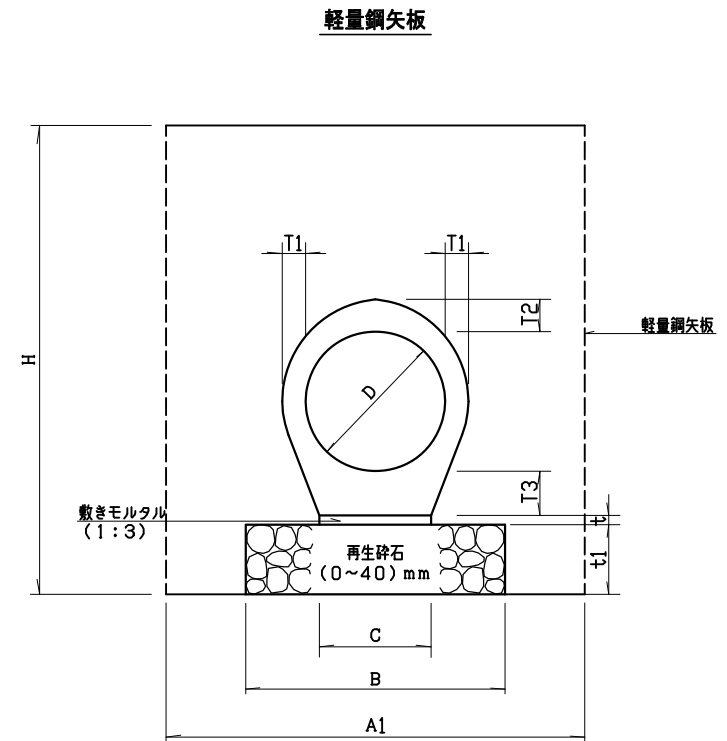
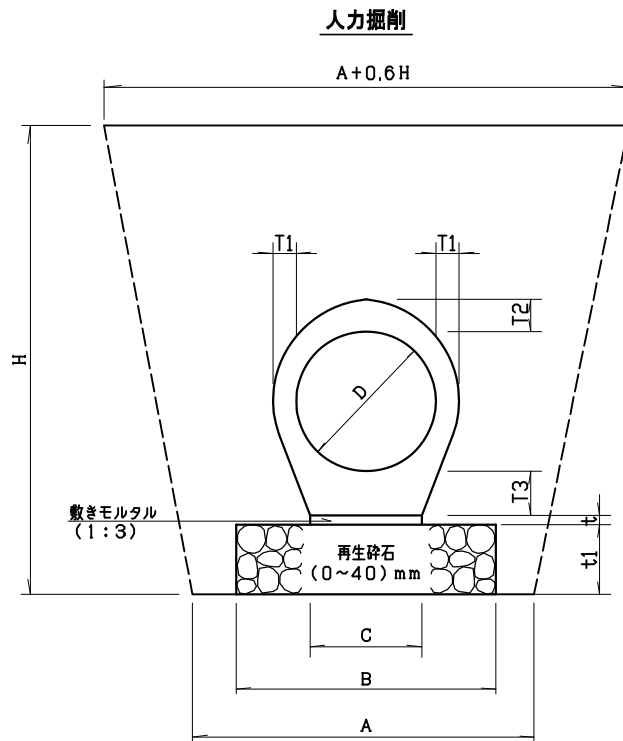


360° コンクリート基礎

寸法表

外圧管B形	単位	A	B	C	C ₀	d	e	f	a	t	D ₀
	D mm	m	mm	mm	mm	mm	mm	mm	mm	mm	mm
	300	1.400	700	600	560	150	120	100	280	30	360
	400	1.500	800	700	770	150	115	150	390	35	470
	500	1.600	900	800	884	150	108	150	450	42	584
	600	1.700	1000	900	1000	200	100	150	500	50	700

雨水取付管工標準断面図
コンクリート台付管

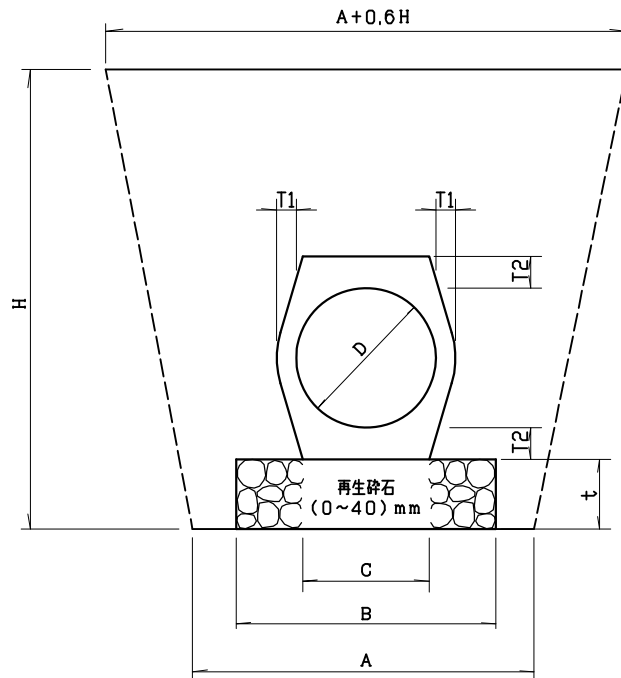


寸法表

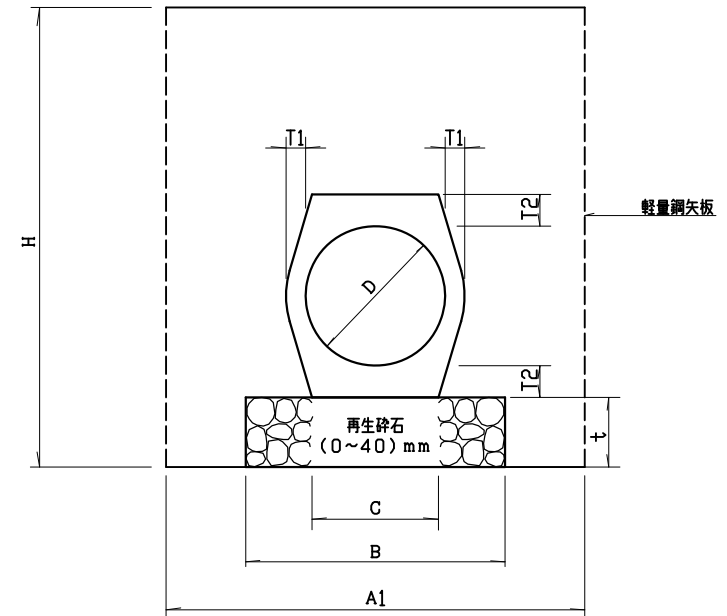
単位 D mm	A	A+0.6H	B	C	t	t1	T1	T2	T3	A1
	m	m	mm	mm	mm	mm	mm	mm	mm	m
250	0.940	0.940+0.6H	400	200	30	150	45	70	90	1.050
300	1.000	1.000+0.6H	440	240	30	150	50	69	95	1.100
350	1.058	1.058+0.6H	480	280	30	150	54	72	100	1.150
400	1.116	1.116+0.6H	520	320	30	150	58	74	107	1.200
450	1.174	1.174+0.6H	560	360	30	150	62	96	114	1.250
500	1.230	1.230+0.6H	600	400	30	150	65	101	122	1.350
600	1.342	1.342+0.6H	650	450	30	150	71	110	133	1.450

雨水取付管工標準断面図
 コンクリート台付管 1種・2種

人力掘削



軽量鋼矢板



寸法表

単位 D mm	A	A+0.6H	B	C	t	T1	T2	A1
	m	m	mm	mm	mm	mm	mm	m
250	0.940	0.940+0.6H	430	234	150	40	64	1.050
300	1.000	1.000+0.6H	470	272	150	42	68	1.100
350	1.058	1.058+0.6H	510	310	150	44	72	1.150
400	1.116	1.116+0.6H	550	354	150	50	80	1.200
450	1.174	1.174+0.6H	600	396	150	54	88	1.250
500	1.230	1.230+0.6H	640	436	150	58	94	1.300
600	1.342	1.342+0.6H	810	514	150	62	100	1.400

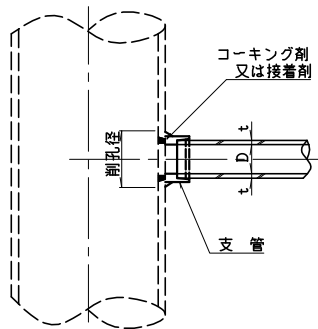
雨水取付管接続工（その1）

既設ヒューム管

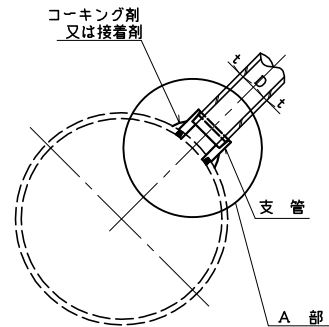
本管がヒューム管で取付管径が200mm以下の場合

取付管がヒューム管

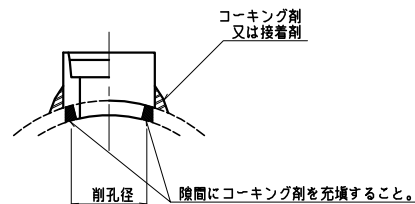
平面図



断面図



A部詳細部

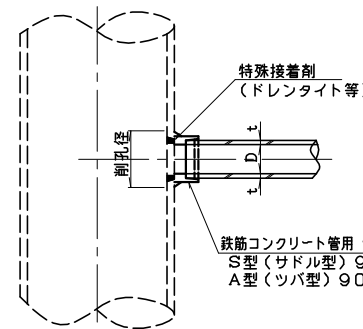


鉄筋コンクリート支管

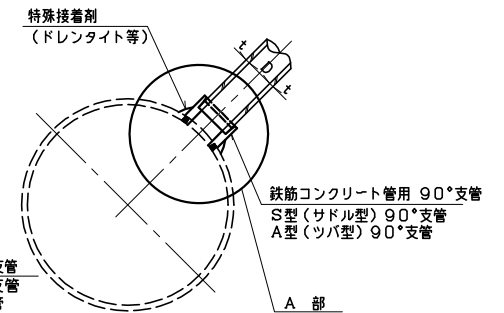
呼び径	本管の適用管径	
150	A	250~350
	B	400~500
	C	600以上
200	A	400~500
	B	600~900
	C	1000以上

取付管が塩ビ管

平面図

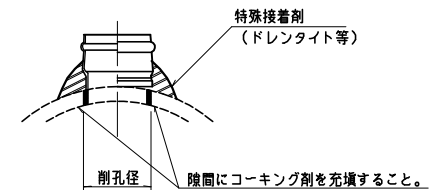


断面図



※S型 (サドル型) を標準とする。

A部詳細部

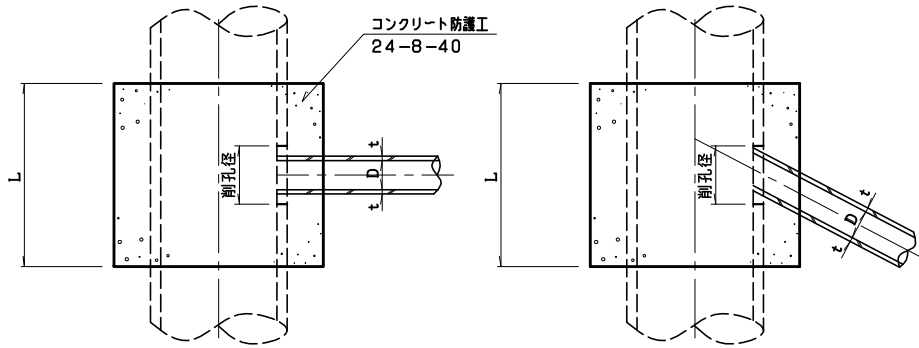


※ 削孔径は、支管が入る最小限の大きさとする。

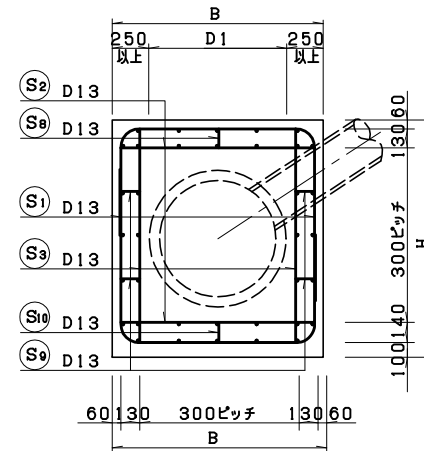
雨水取付管接続工（その2） 既設ヒューム管

本管がヒューム管で取付管径が250mm以上の場合

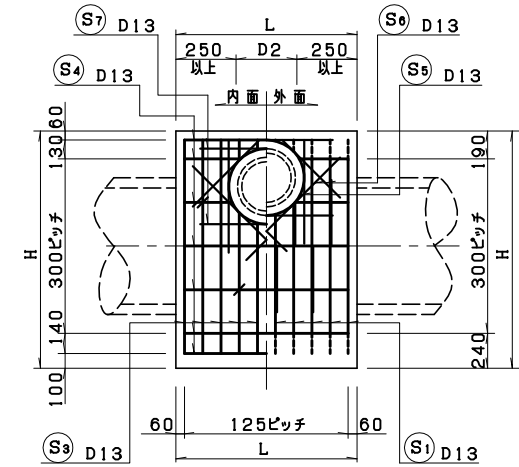
平面図



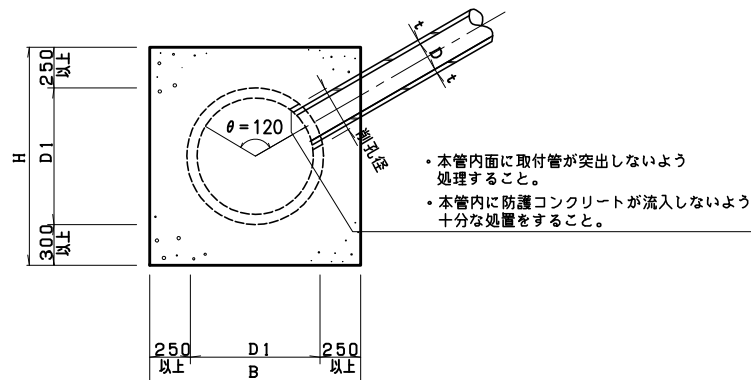
横断面図



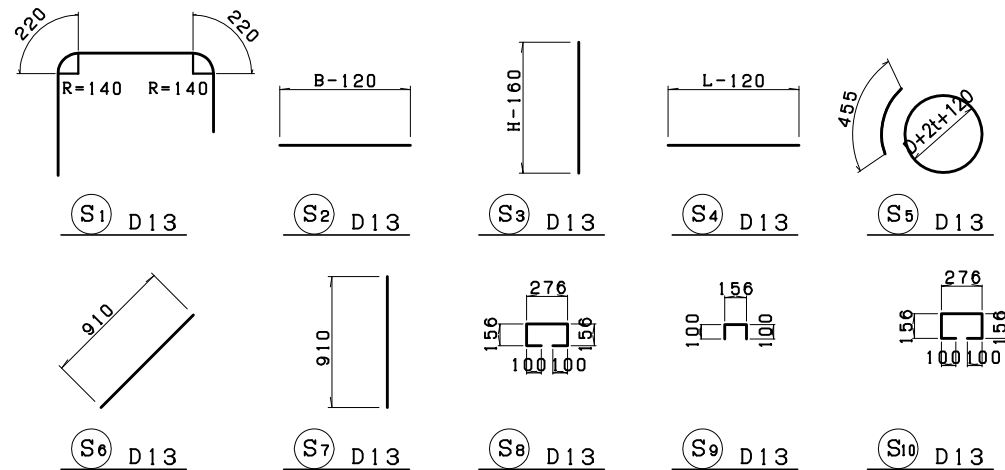
縦断面図



断面図



鉄筋加工図

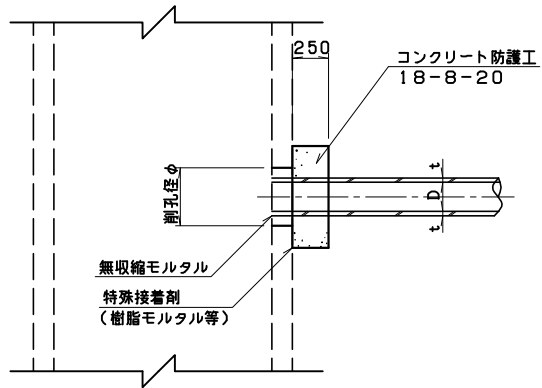


1. 既設雨水幹線への取付管径はφ500mmまでとし、φ600mm以上の管径が必要となる場合、既設雨水幹線に合流マンホール等の設置を行うこと。
2. 雨水幹線への取付管の平面的な取付角度は、60°以下を原則とする。
3. 部材厚・配筋については、強度チェックを行うこと。

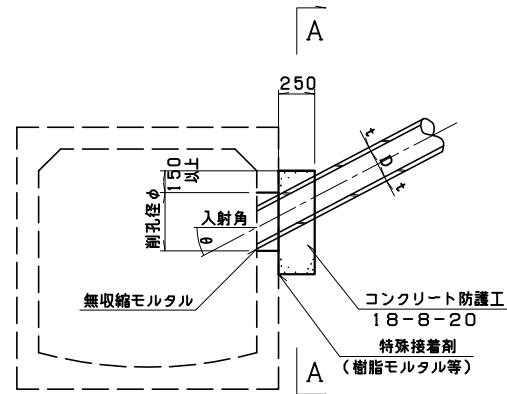
雨水取付管接続工（その3）
既設ボックスカルバート

本管が矩形渠で削孔径が400mm未満の場合

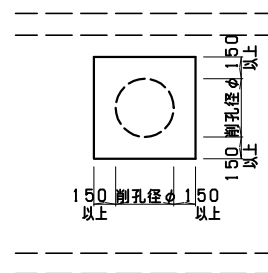
平面図



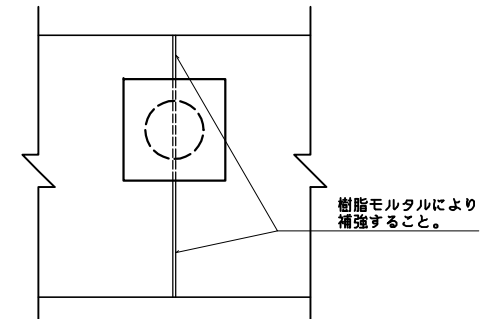
断面図



A-A断面図



目地部

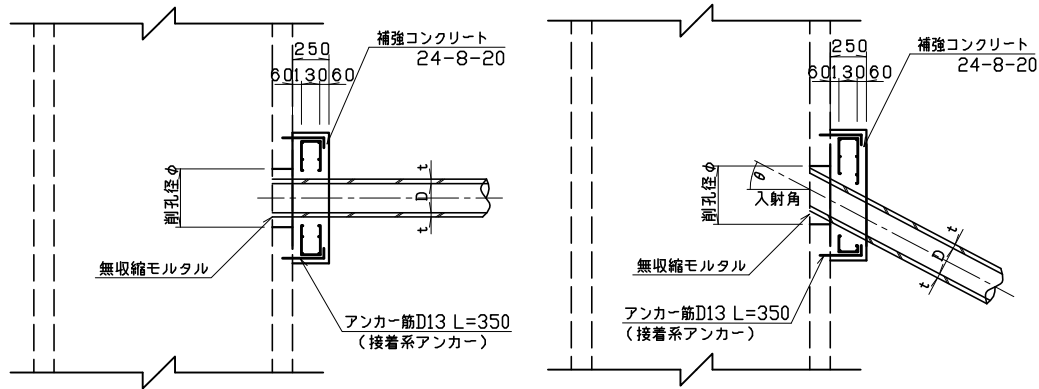


1. 雨水幹線への取付管の取付角度 θ は、 60° 以下を原則とする。
2. 矩形渠用人孔上部工への取付は、維持管理が困難な為、避けること。

雨水取付管接続工（その4） 既設ボックスカルバート

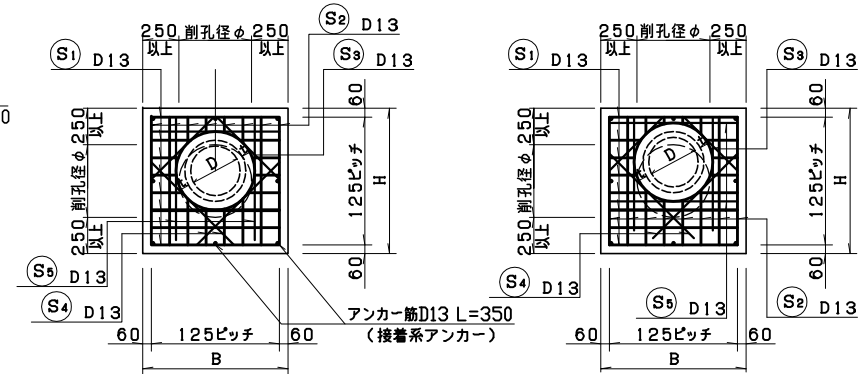
本管が矩形渠で削孔径が400mm以上の場合

平面図



A-A断面図

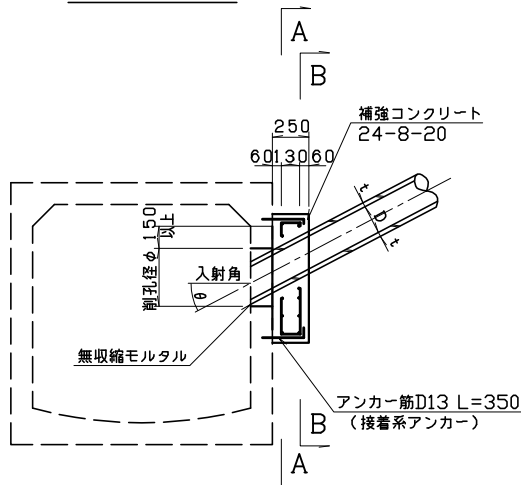
B-B断面図



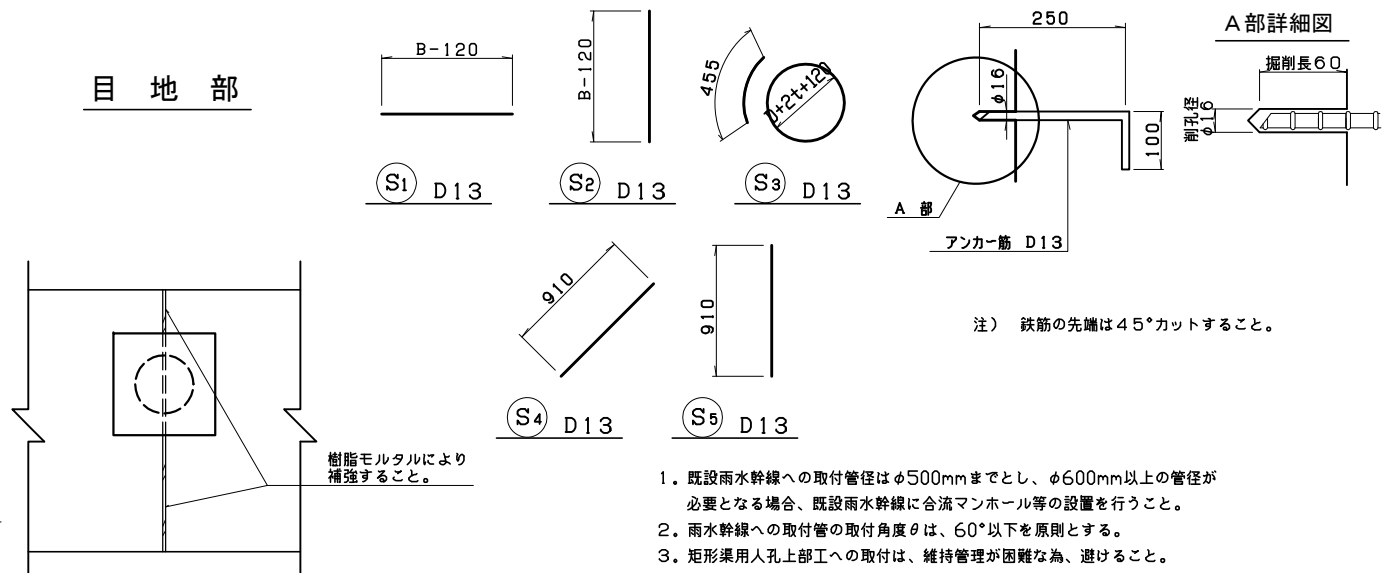
鉄筋加工図

アンカー施工図

断面図



目地部



注) 鉄筋の先端は45°カットすること。

1. 既設雨水幹線への取付管径はφ500mmまでとし、φ600mm以上の管径が必要となる場合、既設雨水幹線に合流マンホール等の設置を行うこと。
2. 雨水幹線への取付管の取付角度θは、60°以下を原則とする。
3. 矩形渠用人孔上部工への取付は、維持管理が困難な為、避けること。
4. 矩形渠への取付の場合で、既設雨水幹線の内空断面に対して、取付管径が大きく、取付削孔時にハンチ及びインパート部を欠損させる恐れがある場合は既設雨水幹線の改良までを含めた合流渠等による取付を行うものとする。